

2026.8.1

【富士見町】

標高約 1,000m の冷涼な農地にて、遊休農地と担い手をつなぐ「農地マッチング支援」を開始！

～農業委員会と集落支援員が連携。地域の実情に寄り添い、相談からマッチング後まで切れ目なく支援～



【標高約 1,000m に位置する富士見町の農地。冷涼な気候を生かした営農が可能】

富士見町では、農地を貸したい人と借りたい人を結び付ける「農地マッチング支援」を2026年4月に開始しました。近年、気候変動の影響などを背景に、標高約1,000mの冷涼な気候を生かした農業への関心が高まっていることもあり、開始から3か月で借受希望は10件と当初想定を上回る相談が寄せられています。

町では、農業委員会を中心に集落支援員と町が連携した仕組みにより、遊休農地の発生を抑制するとともに、新たな担い手の確保を目指しています。

背景

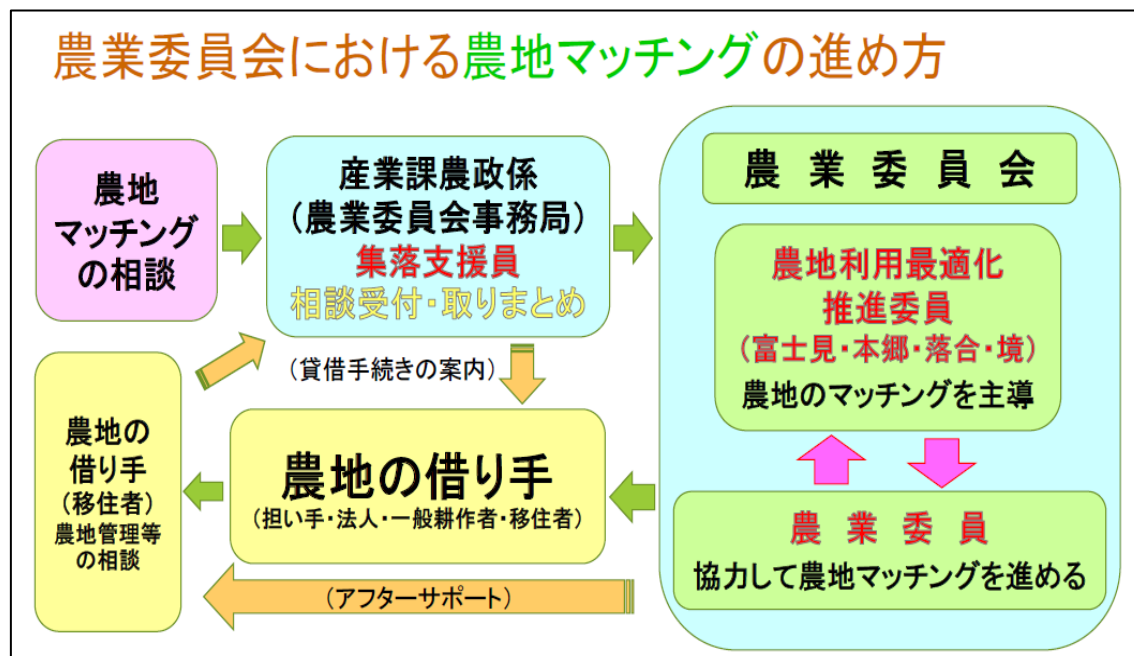


【富士見町の遊休農地。高齢化により維持管理と継承が課題】

八ヶ岳山麓に位置する富士見町の農地は傾斜地が多く、法面の草刈りなど管理負担の大きさが遊休農地発生の一つの要因となっていました。また、近年では農家の高齢化や後継者の不足により、今まで以上に農地の維持や次世代への継承が課題となってきました。しかし、一方では移住者や新規就農希望者、農業法人など、富士見町で農地を必要とする担い手からの相談も増えてきており、その要望にどう応えるかも課題となっていました。これまで町では、農地に関する相談は農業委員会や担当係が個別に対応をしており、農地を貸したい人と借りたい人の要望を円滑につなぐ仕組みが十分ではありませんでした。こうした課題を解決するため、富士見町では農業委員会を中心に集落支援員と町が連携し、相談受付からマッチング、その後のフォローまでを一体的に支援する農地マッチングを新たに開始しました。

富士見町の「農地マッチング支援」の特徴

富士見町の農地マッチングは、農地情報を公開するだけではありません。地域を熟知した人材が連携し、一人ひとりの希望や地域の実情に応じたマッチングと継続的な支援を目指しています。



1. 地域を知る人がつなぐ、きめ細かなマッチング支援

農業委員会を中心に、農地利用最適化推進委員、農業委員、集落支援員、町役場が連携し、相談受付から希望の聞き取り、現地確認、農地情報の整理、マッチングまでを一体的に進めます。地域の農地や所有者の状況を把握している農地利用最適化推進委員や農業委員が関わることで、地図や台帳だけでは分からない地域の実情も踏まえ、一人ひとりの希望に応じたマッチングを目指します。

2. 利用者の目的や経験度に応じた農地を提案

登録されている農地は、小規模な農地からまとまった農地までさまざまです。新規就農を目指す方には始めやすい広さの農地を、農業法人には経営規模に応じた農地を紹介するなど、それぞれの目的や経験度などに応じた提案を行います。また、マッチング後も地域との関係づくりや農地管理に関する相談なども継続的に支援します。

今後の展開



【農地マッチング支援の登録農地例（貸付希望）】（2026年8月1日現在）

農地マッチング支援の実施状況については、開始から3か月で借受希望が10件と、当初想定を上回る相談が寄せられている一方、貸付希望農地の登録数はまだ十分とは言えません。富士見町では本取り組みを広く周知し、農地を貸したいと考える農地所有者からの相談をより多く受け付けることで、遊休農地の発生抑制と地域農業の担い手確保を進めていきます。また今後は、地域住民が主体となって運営する民間の協働農園プログラム等とも連携し、移住者の家庭菜園や小規模な農業を希望する方の受け皿づくりも進めていく予定です。

行政による農地マッチング支援に加え、地域住民の多様な農との関わり方を支えることで、農業の担い手の裾野を広げていきます。

《本件に関するお問い合わせ》

富士見町 産業課 農政係（農業委員会事務局）

TEL：0266-62-9234

E-mail：sangyou@town.fujimi.lg.jp